

## エコオフィス活動の取り組み一覧表（運用基準）

※網掛け部分は、省エネルギー取り組み期間中に特に実践していただく内容

### ●エコオフィス活動の促進

	職員や市民にエコオフィス活動の取り組みを呼びかける。（例：節電や裏紙使用を促進する貼紙等の掲示）
--	--

### ●電気の使用

	始業前・終業後の消灯を徹底する。
	時間外の勤務の際の照明は必要最小限とする。
	休憩時間中は、執務室に業務中または食事中の職員がいるなどの場合を除いて消灯する。
	更衣室・湯沸し室・トイレ・会議室・書庫・倉庫などは、使用時以外の消灯を徹底する。
	パソコンは、長時間使用しない時にはシャットダウンする。
	コピー機等は、使用後に節電（省電力）ボタンを押す。
	コピー機等は、不使用時（昼休み等）は、業務に支障のない範囲でスイッチを切る。
	コピー機等は、退庁時は支障のない限り、主電源を必ず切る。
	待機電力削減のため、長時間使用しない電気製品は、コンセントを抜く。
	電子機器類に異音・異常振動・詰まりなどが発見された場合は、使用を中止し、修理を行う。
	上下3階程度の移動は、エレベーターを使用しない。（特別な場合は除く。）
	空調設備は、環境省の推奨温度を目安とした室内温度になるよう適温調整する。
	室内および外気温度の状態を見ながら空調運転を開始し、終業時間前に停止する。
	空調は必要最小限とし、倉庫・書庫などの不要な空調設備を使用しない。
	ブラインドやカーテン、グリーンカーテンを有効利用する。
	職員はエコスタイル（クールビズ・ウォームビズ）を実践するよう努める。

### ●ガスの使用

	空調設備は、環境省の推奨温度を目安とした室内温度になるよう適温調整する。
	室内および外気温度の状態を見ながら空調運転を開始し、終業時間前に停止する。
	空調は必要範囲に限るものとし、倉庫・書庫などの不要な空調設備を使用しない。
	長時間使用しない給湯器等の電源を切る。
	ガスコンロを使用する際、必要以上に強火にせず、沸騰したまま放置しない。

### ●公用車の使用

	1分以上の停車時はエンジンをストップし、無用なアイドリングは行わない。
	不要な荷物は積載しない。
	急発進・急ブレーキは行わない。
	経済速度での走行に務める。（一般道路：40km/h、高速道路：時速80km/hを目安）
	走行ルート合理化を図るとともに、相乗りを励行する。
	エアコンは控えめにする。
	タイヤ空気圧を適正に保つ。
	近距離移動は、公用單車・公用自転車を活用し、長距離移動は、公共交通機関を利用するよう努める。
	南部一山口地区の移動は、さくらやまなみバスの利用を検討する。
	車両の購入・更新の際は、低公害車・低燃費車の導入に努める。（該当課のみ）

●灯油・LPGの使用

	空調設備は、環境省の推奨温度を目安とした室内温度になるよう適温調整する。
	室内および外気温度の状態を見ながら空調運転を開始し、終業時間前に停止する。
	空調は必要最小限とし、倉庫・書庫などの不要な空調設備を使用しない。

●紙の購入・使用、印刷物の発行

	「西宮市グリーン購入推進ガイドライン」に適合するコピー用紙を選定する。（契約管理課一括購入のものは適合品）
	「西宮市グリーン購入推進ガイドライン」に適合する印刷用紙を選定する。
	紙の分別を徹底し、裏紙の再使用を促進する。
	両面印刷、集約印刷の機能を活用する。
	次に使用する人のミスコピー防止のため、コピー機使用終了時に、リセットボタンを押す。
	NAISネット等の活用により、会議でのペーパーレス化を図る。
	配布資料は、必要最少部数のみ印刷する。（市民向けにはホームページを活用する。）
	内部資料等の軽易な修正は、手書きで行い、新たな資料を印刷しない。

●事務用品の購入・使用

	「西宮市グリーン購入推進ガイドライン」に適合する物品等を購入する。
	文具類以外でも、環境に配慮した商品の購入・使用を図る。
	窓付き封筒を発注する際には、窓部分はグラシン紙とした仕様とする。

●ごみの排出

	片面使用済みの用紙は、裏紙として再利用する。（個人情報、機密情報に関するもの等を除く。）
	両面使用済みの用紙（名刺サイズより大きいもの）は、古紙回収に回す。
	ダンボール・菓子箱・包装紙類も、束ねて古紙回収に回す。
	個人情報・機密情報を含む廃紙は、可能な限り溶解処理（美化企画課が実施）に回す。難しい場合はシュレッダーを利用し、シュレッダー屑も再資源化に回す。
	上記の分別を徹底するため、分別ボックス等を活用する。
	分別ボックスに足を向けるように、ごみ箱の数をできるだけ減らす。
	必要かつ適正な量の物品購入を行う。
	文書ファイルは再使用品を優先的に利用する。
	使い捨て商品（紙コップを含む）の購入・使用は最小限にする。
	会議等で参加者へのペットボトル飲料の提供を行わない。
	イベント等でワンウェイのプラスチック製品を使用しない。
	レジ袋や使い捨てのスプーン、フォーク、ストローなどのワンウェイプラスチックを受け取らない。
	マイボトル・マイカップ・マイバッグを使用する。
	空き缶、ビン、ペットボトルはリサイクルする。

●上水の使用

	水道使用時に、水の流しっぱなしをしない。
	洗車や散水は、必要最小限にとどめる。

●環境方針の掲出

	最新版の環境方針を掲出する。
--	----------------